

リハ★エール

えらべる受講スタイル

会場



京都市地域リハビリテーション推進センター
1F 研修室

オンライン



京都市高次脳機能障害者支援センター
YouTube チャンネルにて、期間限定配信

どっち?

DOTCH?



令和4年度 高次脳機能障害 入門講座 前期が
5月からスタートします。テーマと会場の開催日は、
5月20日(金) 1「高次脳機能障害 概説」
6月17日(金) 2「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」
7月15日(金) 3「社会的行動障害について」
8月19日(金) 4「失語症について」
9月16日(金) 5「就労に向けて」

※各テーマのオンライン受講期間は、会場の各開催日から1週間です。
※受講には、申込みが必要です。詳しくは、チラシをご覧ください。

※会場での開催は、消毒や検温等の新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施いたします。
当日の体調にご配慮いただき、咳や発熱などの風邪症状がある場合は、参加をお控えください。

参加費:無料

申込フォーム



チラシ



高次脳機能障害 入門講座 始まるっ

地域リハビリテーション推進センターで開催している研修等

当センターでは、障害のある市民の方が、その人らしくいきいきと地域で暮らしていける社会づくりを目指して、障害のある方やそのご家族、地域の支援者等を対象とした研修等、様々な取組を実施しています。

令和4年度の予定についてご紹介します。

地域リハビリテーション推進研修(6月から12月頃)

支援者を対象に、リハビリテーションに関連する知識及び介護技術等の向上を目的とした研修を行っています。

地域ガエルのお出かけ講座(関係機関等への研修講師の派遣)(随時)

関係機関や市民の方からの依頼に基づき、専門職を派遣し、研修(15テーマ)を行っています。



からだの動きに障害のある方の体力測定会&からだの相談会(秋頃予定)

身体障害者手帳をお持ちの方を対象に、体力測定や専門職による、からだの相談会を行っています。

電動車椅子の講習会(秋以降予定)

電動車椅子の利用者や支援者等を対象に、講習と実技(乗車体験)を行っています。



おはなし広場(第1・2・3水曜日)

失語症のある方々の社会参加を促進するために、コミュニケーションを楽しむ交流の場として開催しています。

高次脳機能障害 入門講座(第3金曜日)

対象は当事者やそのご家族、支援者等です。高次脳機能障害をやさしく学べます。全5回。オンラインあり。

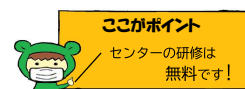
よくわかる高次脳機能障害セミナー(秋頃予定)

介護保険サービス事業所が対象。認知症との関連も解説します。



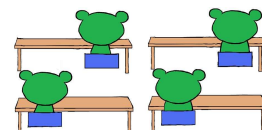
高次脳機能障害 医療機関研修(秋頃予定)

急性期や回復期の医療機関等で、医療やリハビリに携わるスタッフ向けの研修です。



京都府高次脳機能障害(京都市域)支援ネットワーク会議(11月頃予定)

支援機関のネットワークづくりを目的とした会議です。講話と事例検討を行います。



高次脳機能障害 当事者・家族交流会(第2金曜日)

当事者やそのご家族が、なごやかな雰囲気の中で、同じような体験を共有できる交流会を行っています。

★ 最新の情報は、右の二次元コードからご覧いただけます。



地域リハ HP



地域リハ FB



高次脳 HP



高次脳 FB



「障害者支援施設」ってどんなところ？



◆利用対象者：

18歳以上の高次脳機能障害と診断された方。
身の回りの動作が概ね自立している方。

移乗動作の軽介助や、下衣の上げ下げ
などが部分介助レベルであれば対応
可能です。

◆利用定員：

入所または通所での自立訓練
機能訓練 25名、生活訓練 15名
(入所定員 30名)

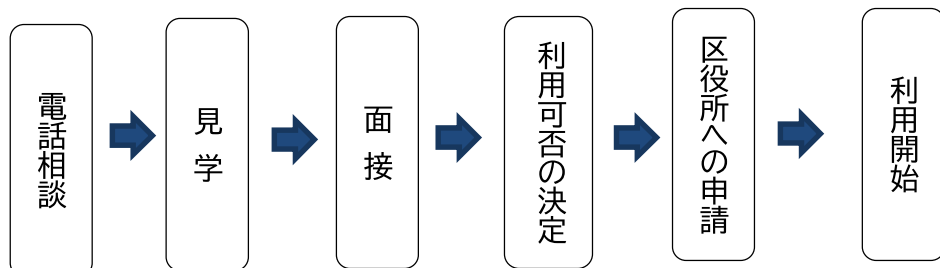
在宅生活を充実させたい！
もう一度仕事がしたい！
行動範囲を広げたい！
などの希望がある方が利用されています。

◆利用期間：

機能訓練 最長 1年6か月
生活訓練 最長 2年

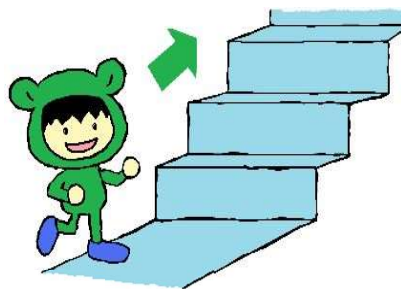
短期入所も実施しています。

★利用開始までの流れ

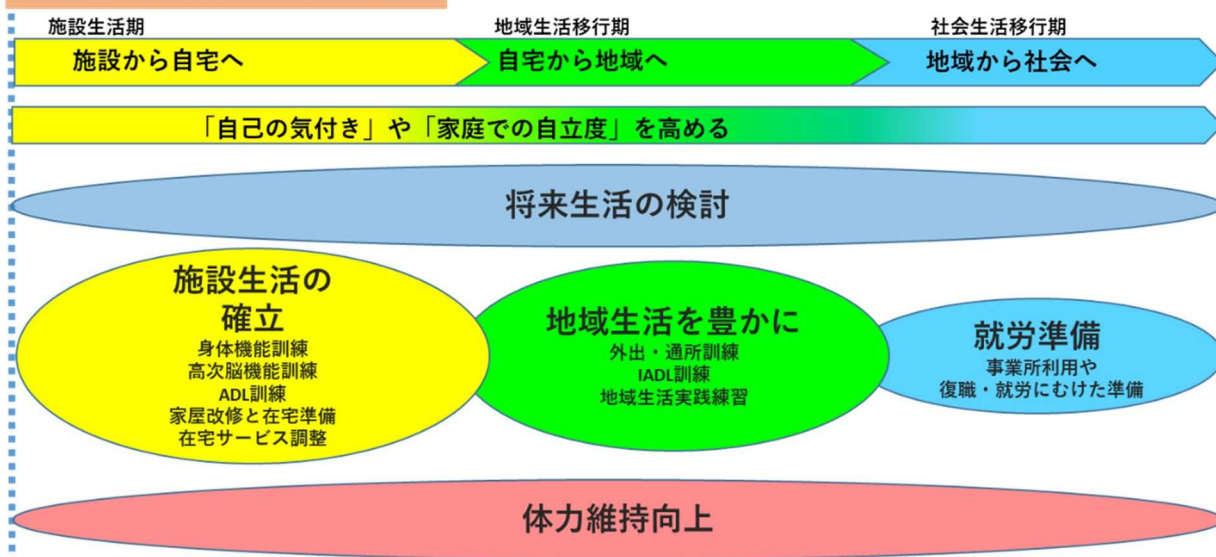


※高次脳機能障害者支援センター窓口(075-823-1658)までご連絡ください

個々の目標に向けて、それぞれの時期
に応じたプログラムを実施しています。



障害者支援施設の支援の流れ



障害福祉サービス事業所等訪問支援事業について

「最近、歩きにくくなってきた」、「姿勢が崩れやすい」、「嚙まずに丸のみしている」、「ごはんが上手く食べられない」、「体力が落ちたのかな!？」、「トイレに手すりをつけたいけど、どこにつければいいんだろ!？」などといった、利用者や支援されている方に関するチョット気になるけど、どうしたらいいのかな~と思ったことはありませんか？

こんな時に是非利用していただきたいのが、

「障害福祉サービス事業所等訪問支援事業」です。



この事業では、市内の障害福祉サービスや介護保険サービスの事業所等からの依頼に基づき、当センターの専門職員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）が、事業所や利用者宅等を訪問し、利用者の身体状況の把握や介助・対応方法、身体機能維持のためのプログラムや活動の導入等、様々な困り事についての助言を支援者に行っています。

相談内容としては、関節が固くならないためのストレッチや歩行の介助方法、食事の時の姿勢や食べ方の工夫、車椅子の適合や調整等に関するものが、比較的多くなっています。

最近では、放課後等デイサービスからの依頼もあり、小・中学校の児童・生徒に関する相談も増えてきました。また、高齢者の居宅での課題（移動手段の選択、手すり等の環境調整など）についての相談もあり、幅広い年齢層の方々に対して支援を行うようになってきました。

今後も、児童から高齢者まで切れ目のない支援ができるように心がけていきたいと考えていますので、是非ご利用ください。

※ なお、当事業は事業所等支援への一環として実施しているものであり、申込みは支援者からに限らせていただいております。ご了承ください。



歩行の介助方法

食事の指導

車椅子の調整

手すりの調整

チョットでも気になることがあれば、是非、ご相談ください！

【連絡先】京都市地域リハビリテーション推進センター相談課

E-mail: rehabili-chiiki@city.kyoto.lg.jp

TEL: 823-1666 FAX: 842-1541

※ 右の二次元コードもご利用ください。



★編集後記★

初夏の日差しになってまいりました。

まぶしくて紫外線も気になりますねえ。

当センター主催の研修は、会場までお越しいただくか、オンライン参加か、受講方法をお選びいただけるものがありますので、ぜひ、お問い合わせください。



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



【リハ♡エール】第26号 令和4年5月発行
発行 京都市地域リハビリテーション推進センター
〒604-8854
京都市中京区壬生仙念町 30 番地
電話 075(823)1650(代表)
Eメール rehabili@city.kyoto.lg.jp

京都市印刷物 第044122号